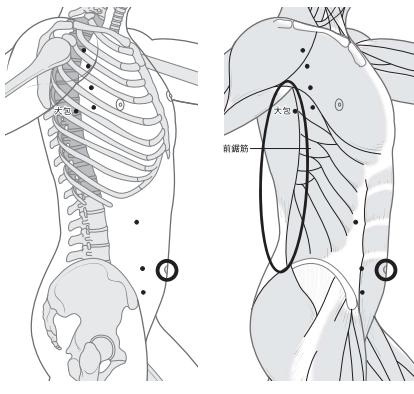
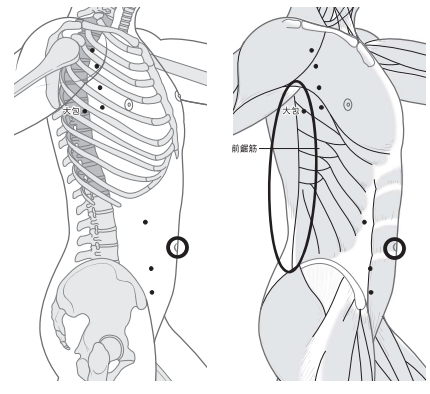


『新版 経絡経穴概論』
第1版4刷から第2版1刷に伴う変更点

『新版 経絡経穴概論』
第1版4刷から第2版1刷に伴う変更点

ページ数	変更箇所	変更前	変更後
9	表 1-2 骨度法「上肢」2行目(***マークの追加)	腋窩横紋前端または後端～肘窩	腋窩横紋前端または後端～肘窩***
9	最後の行に文字の追加		***便宜上、肩峰外側端～肘窩までを次のように定める。 上肢を下垂したとき：1尺2寸 肩関節を90度外転したとき：1尺
34	「脳戸」取り方(文章の追加)		*脳空(胆経)と同じ高さにあたる。
34	「百会」取り方	左右の耳介を前に折り、その上角を結ぶ線の中点に取る。	左右の耳介を前に折り、その上角(耳尖)を結ぶ線の中点に取る。
36	「神庭」取り方(文章の追加もあり)	前髪際がはっきりしない場合は、眉間の中央の上方3寸5分を取る。	前髪際がはっきりしない場合は、眉間の中央の上方3寸5分を取る。 *前髪際の後方5分には前正中線から、神庭、眉衝(膀胱経)、曲差(膀胱経)、頭臨泣(胆経)、本神(胆経)、頭維(胃経)が並ぶ。
46	「臈中」取り方(文章の追加)		*第4肋間の高さには前正中線から、臈中、神封(腎経)、乳中(胃経)、天池(心包)、天溪(脾経)、輒筋(胆経)、淵腋(胆経)が並ぶ。
48	「璇璣」部位	前胸部、前正中線上、頸窩の下方1寸。	前胸部、前正中線上、頸窩(胸骨上窩)の下方1寸。
48	「天突」部位	前頸部、前正中線上、頸窩の中央。	前頸部、前正中線上、頸窩(胸骨上窩)の中央。
56	「太淵」取り方(文章の追加)		*太淵、大陵(心包経)、神門(心経)は手関節掌側横紋上に並ぶ。
62	「陽溪」取り方(文章の追加もあり)	長母指伸筋腱と短母指伸筋腱との間で、母指を十分に外転・伸展させたときにできる陥凹中、橈骨と舟状骨との間を取る。 *陽溪から曲池までの長さを1尺2寸とする。	タバコ窩(橈骨小窩)の陥凹部で、手関節背側横紋横側、橈骨と舟状骨との間を取る。 *タバコ窩(橈骨小窩)は、長母指伸筋腱と短母指伸筋腱との間で、母指を十分に外転・伸展させたときにできる。 *陽溪から曲池までの長さを1尺2寸とする。 *陽溪、陽池(三焦経)、陽谷(小腸経)は手関節背側横紋上に並ぶ。
66	「肘髻」取り方(文章の追加もあり)	曲池の後上方で、 <u>上腕骨外側上顆上際の前縁</u> に取る。	曲池の後上方で、上腕骨の外側上顆の上縁に取る。 *外側上顆とは、上腕骨外側上顆の上縁のあたりで、上腕骨の外側縁下端で外側上顆へ斜めに連なる部分をいう。
66	「手五里」取り方	曲池の上方3寸、上腕三頭筋の外側縁に取る。	曲池と肩髃を結ぶ線上、曲池の上方3寸、上腕三頭筋の外側縁に取る。
66	「臂臑」取り方	肩髃の下方3寸、三角筋の前縁に取る。	曲池の上方7寸、三角筋の前縁に取る
68	「扶突」取り方(文章の追加)		*甲状軟骨上縁の高さで、胸鎖乳突筋の前縁に人迎(胃経)、中央に扶突、後縁に天窓(小腸経)が並ぶ。
74	「承泣」取り方	正視させて、瞳孔を通る垂線と眼窩下縁との交点に取る。	正視させて、瞳孔を通る垂線上で、眼球と眼窩下縁の間を取る。
76	「頭維」取り方(文章の追加)		*前髪際の後方5分には前正中線から、神庭(督脈)、眉衝(膀胱経)、曲差(膀胱経)、頭臨泣(胆経)、本神(胆経)、頭維が並ぶ。
76	「人迎」取り方	*扶突(大腸経)の内方にあたる。	*甲状軟骨上縁の高さで、胸鎖乳突筋の前縁に人迎、中央に扶突(大腸経)、後縁に天窓(小腸経)が並ぶ。
78	「気戸」解剖	[血管] 鎖骨下動脈	[血管] 腋窩動脈
80	「乳中」取り方(文章の追加)		*第4肋間の高さには前正中線から、臈中(任脈)、神封(腎経)、乳中、天池(心包)、天溪(脾経)、輒筋(胆経)、淵腋(胆経)が並ぶ。

ページ数	変更箇所	変更前	変更後
80	「不容」取り方(文章の追加)		*胸骨下角が狭く、不容の下に肋骨がある場合の刺鍼は斜刺で行う。
84	「髀関」取り方(文章の追加)		*大腿部の胃経の経穴はすべて上前腸骨棘と膝蓋骨底外端とを結ぶ線上に取る。
103	イラストの修正		
108	「神門」取り方(文章の追加)		*太淵(肺経), 大陵(心包経), 神門は手関節掌側横紋上に並ぶ。
110	「経脈の流注」3行目	咽喉をめぐり、横隔膜を貫いて胃に至り、	咽喉、食道をめぐったのち、横隔膜を貫いて胃に至り、
112	「陽谷」取り方(文章の追加もあり)	手関節の後面で、尺骨茎状突起直下の陥凹中、尺側手根伸筋腱の内側に取る。 *陽谷から小海までの長さを1尺2寸とする。	手関節の後内側、三角骨と尺骨茎状突起の間の陥凹部、尺側手根伸筋腱の内側に取る。 *陽谷から小海までの長さを1尺2寸とする。 *陽溪(大腸経), 陽池(三焦経), 陽谷(小腸経)は手関節背側横紋上に並ぶ。
114	「支正」取り方	手を胸にあて	手掌を胸にあて
116	「天宗」取り方	肩甲棘中央	肩甲棘の midpoint
116	「秉風」取り方	肩甲棘中央の上縁	肩甲棘中央の直上
118	「天窗」取り方(文章の追加)		*胸鎖乳突筋は、抵抗に抗して頭を反対側に向けるとより明瞭に現れる。 *甲状軟骨上縁の高さで、胸鎖乳突筋の前縁に人迎(胃経), 中央に扶突(大腸経), 後縁に天窗が並ぶ。
118	「顴髎」取り方	外眼角を通る垂直線と頬骨下縁との交点に取る。	外眼角を通る垂直線上で頬骨下方の陥凹部に取る。
122	「眉衝」取り方(文章の追加)		*前髪際の後方5分には前正中線から、神庭(督脈), 眉衝, 曲差, 頭臨泣(胆経), 本神(胆経), 頭維(胃経)が並ぶ。
122	「曲差」取り方(文章の追加)		*前髪際の後方5分には前正中線から、神庭(督脈), 眉衝, 曲差, 頭臨泣(胆経), 本神(胆経), 頭維(胃経)が並ぶ。
128	「膈俞」取り方(文章の追加)		*肩甲骨下角は第7胸椎棘突起と同じ高さにある。
144	「飛揚」取り方	承山の下方1寸の高さで、アキレス腱とヒラメ筋とのほぼ中央に取る。 *崑崙の上方7寸にあたる	崑崙の上方7寸, 承山の外下方1寸, 腓腹筋外側頭下縁とアキレス腱の間に取る。
144	「跗陽」取り方	崑崙の上方3寸で、アキレス腱と短腓骨筋腱との間に取る。	崑崙の上方3寸, 腓骨とアキレス腱との間に取る。
146	「申脈」取り方(文章の追加もあり)	外果尖の直下、長腓骨筋腱の上縁に取る。	外果尖の直下、外果下縁の下方陥凹部に取る。 *申脈に対応する内側の経穴は照海(腎経)である。
146	「金門」取り方	第5中足骨粗面の後方、立方骨下方の陥凹部に取る。	第5中足骨粗面の後方、立方骨下方(足底側)の陥凹部に取る。
146	「京骨」取り方(文章の追加)		*第5中足骨粗面は、踵と第5中足指節関節のほぼ中央にある。
152	「照海」取り方(文章の追加)		*照海に対応する外側の経穴は申脈(膀胱経)である。